日本共産党あきる野市委員会発行

あきる野民報

発行責任者/松平重幸　TEL＆FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2009.3.8　No.505　（毎月２回発行）

あきる野市委員会は次の見解を発表しました。

臼井市政の“行政改革”で走り出す市民サービス切捨てに異議あり

市民は…“安心できる医療・介護を緊急に”と願っています

日本共産党の 市民アンケートの 回答が語る その②

アンケートの中でも医療や、介護に関することがとりわけ多く寄せられて、悲鳴に近いのが特徴です。たくさんありすぎてとても紹介しきれませんが、今回はそのほんの一部を紹介します。

「介護保険料が高すぎる。前回保険料が50％も高くなり、平成21年度からまた値上げをされたら生活できません。絶対値上げには反対です」「介護保険料は年金から引かれているが、すぐに受けたい、介護の必要があるのに手続きが困難で時間がかかる。現状を見てすぐに受けられるようにしてしてほしい」「年をとって受ける制度なのだから、わかりやすく、真心を持って取り組んでほしい」「市民健診の項目が大幅に減少し不安」「公立阿伎留医療センターの循環器科の常勤医師の確保をしてください」「心臓、腎内臓摘出手術後、高齢者を自宅で見なくてはいけない家族の重圧、最低限の生活とは何なのか」などなど紹介しきれないくらいたくさんの声が寄せられました。国の「小泉構造改革」の影響が医療や介護の現場にも深刻な状況をもたらしています。

日本共産党は、安心できる医療や介護に自治体としてきめ細かな取り組みをするよう求めていきます。

news 見過せません こんなこと…

市は、次期予算案で、「土地開発公社」が所有する山林の86％、約14ヘクタールを約17億8千万円で買い取ると発表した。前秋川市長・現あきる野市長臼井氏が市民の反対を押し切って開発してきたもの。この責任に口を噤んだまま、市民の税金を再びつぎ込もうというもので、記者会見で「計画の見誤りでは？」の質問に「見誤ったとは思っていない」と副市長が答弁したというから、市民としては黙ってはいられませんよね。

制度解説

衆議院選挙の投票は2回あります

比例代表は――

日本共産党と、お書きください。

●小選挙区は候補者名を書いて下さい

衆議院東京25区予定候補

鈴木おさむ

おばらしき こどもぐらし

たばた　あずみ

まだまだ風邪の流行は治まりません。わが家でいちばん風邪をひきやすいのは3歳児。抵抗力も弱いのに、うがいをしないから。

いくら教えようとしても「おれはできねぇ」といばって、ちっとも練習しない。お母さんともだちに相談したら「うがいで歌うのは？」と。なるほど！

さっそくお風呂でうがいをしながら「かえるのうた」を。上の2人は大喜びで「がらがらがっがっがっ」。かんじんのちびも、初日は見るだけでしたが、翌日にはうがいを習得！

みんなにほめられてかなりいい気分ですが、「おれ、歌はできないんだよ」。…うがいの目的はそこじゃないからさ。　(09.3.8)

連絡先は☎550-6674

野良望

二月一日の市の広報は「走り出した行政改革」という見出しで、まだ市民との合意がなされていない福祉・市民サービスカット、補助金・負担金のカットなどが、あたかも決まったことのように書かれていた。▼中でも「いきいきセンターの冬期運営休止」に驚きました。今から九年前、いきいきセンターの温水プール廃止計画が持ち上がりました。当時議員だった私は、すぐセンターに行き利用者の声を聞いたところ、利用者は異口同音に「嘘でしょう。こんなに利用者に喜ばれている施設を廃止なんて考えられない」と云って怒りました。▼私が議会で取り上げ「廃止するな」と質問したとき、利用者が多数傍聴に来てくれ、禁止されている拍手を一斉にして、議長もその迫力に押され拍手の制止もしませんでした。廃止計画もなくなりました。▼またまた出てきた市民いじめの計画、もう市民の反撃が始まっています。市民を甘く見る市長と同調する議員に審判を。（松）

山根とみえ議員

“3期目に挑戦！”

議会で街頭で山根節が響きます

「言語明瞭、山根節は議会でも街頭でもよく響く」と多くの声が市民から聞かれます。八年間の実績は女性議員の少ない議会で日本共産党の議員としてなくてはならない人と評価されてきました。

「るのバスの山根」が定着し、女性議員として細かに市民の要求を取り入れ、保育園・児童館の待機児童の解消や妊婦検診助成の増額などに成果を上げています。

三期目に挑戦する山根とみえ議員は、八年間続けている早朝駅頭宣伝や街頭宣伝で、地域を廻りながら市民と対話を連日続けています。

▼「あなたのような人に頑張ってもらわないと困る。建築関係は仕事がなくて困っている」＝（ダンプ運転手）。

▼「雇用問題のあなたの話はその通りだ。何とかしないと日本は大変な事になる」＝（元町内会長）。

▼「子どもが育ってこそ未来がある。子育てし易いあきる野にして欲しい」＝（女性支持者）。

……など多くの市民から激励が寄せられています。

後援会だより

バラの接木教室に参加して

2月21日・五日市大和田バラ園

選ばれた品種が「ピース」「アンネのバラ」。講師の大和田さんから教育の一貫として「アンネのバラ」の接木をとりあげている中学校の話、戦時中バラづくりなんて非国民扱いされた話などを伺い、平和の大切さを20人余りの参加者みんなが深めたひとときでした。

そう云えば、先日のTVでも、共産党本部屋上には「ピース」が植えられているとか……。

五日市後援会・宮下和子

春をよぶ たばたあずみと歌う会

TABATA AZUMI TO UTAUKAI

3月20日(金) 2時～4時

参加費＝700円

CAFEアカサカ（秋川駅北口）

南部日本共産党後援会

毎号、良い記事、判断材料を有難うございます。欠かさず見るのは「野良望」と「歴史探訪」、中でも「川柳」は適切なカリカチュアやエスプリに心打たれています。今後とも、『民報』の発展にご尽力をお願い致します。　引田在住・佐々木健人

《投稿》

絵手紙／寺門静子さん・雨間在住

川柳

財界は山判抱えた守銭奴に　西川昇

財務相国の大事にご酩酊　西川昇

自らの失政恥じない臼井さん　松籟坊

あきる野の自民時代は過去のもの　松籟坊

俳句

〈季語＝「梅」〉早春の季語ですが、他の花との違いは何といっても気品です。寒気の残る季節に咲く芳香は、他の追随を許しません。

登校の声ころころと春まじか　（照代）

立春の背すじに通す深呼吸　（かほる）

日向ぼこ爺と子犬と池の亀　（勝代）

幼子の小さき手に合ふ蜜柑かな　（るり子）

鏡台に春のルージュを揃へけり　（和恵）

春近し苔の浮きたる鉢の土　（静子）

マリンバの弾む休日春近し　（つや）

咲き初むる紅梅白梅蒼天へ　（やす子）

不意打ちの雪となりたる通夜帰り　（淑子）

大試験終へて堰堤（えんてい）まっしぐら　（秀治）

歴史探訪　第85回　地名考・渕上①

渕上村について「新編武蔵風土記稿」では次のように書かれています。（木崎詳略）

「渕上村は多摩郡の中程より少し南にあり、秋留郷に属している。日本橋より行程48キロ。村名の起こりは村内に流れる秋川に地蔵渕という所があり、その渕の上に村があったので呼ばれるようになった。今はその渕も流れが南に変化し、渕のある場所は陸地になって水田が作られている。村境は、東側が代継村、南は山の頂きを境として戸吹村に接している。西は引田村、北は平井村である。東西130米・南北220米。地形は多くが平地であり、南の秋川の辺りはなだらかな坂である。民家20軒が秋川近くに散在している。北は秋留っ原であり民家もなく陸田である。土性は真土黒土が交じっている。正保（一六六四）の頃は代官・福村長右衛門が支配していたが、延享4年（一七四四）に中安殿に変わり今に至っている」

古文書に「淵の上」「淵ノ上」とも書かれていますが、渕上は上代継と引田に挟まれ、また同大字と同様、南北に長く東西に短い地形です。面積は上代継よりやや狭い。「風土記」にあるように、秋川の流れのある場所に地蔵渕と呼ばれた所があり、その渕の上に集落があった理由から村名がつきました。

（続く）

草花　木崎秀治

渕上山観音禅寺